

アマダイ通信NO. 118

(Tilefish network letter)

2017年つつじ燃ゆ

知人・友人各位

新しく通信の読者になってくれる方は、よりも若い方ばかり。80歳まで生きるのは当たり前になり、100歳以上の方も日本には3万人以上いる。素晴らしいことだ。労働人口が減る中で、年金の70歳からの支給と、70歳定年がもう直ぐ。問題はどこまで健康でいられるか？食べていけるか？老後不安、長生きリスクの克服だ。ステージⅢb、余命半年の大腸がん手術から14年、馬齢を重ね古稀を迎え、今シーズンも元気に雪山で遊ぶ。お陰様で仕事も現役。多少は社会の役に立って、生崖現役だと嘯く。紆余曲折、人生色々、社会も変わる。読者の皆さんに、何か伝えられることがあると嬉しい。

◎東京も火の海に！

北朝鮮の攻撃で東京も火の海になる！とメディアは危機を煽る。北朝鮮が核実験を行えばトランプは軍事行動を起こすという。オバマケア見直し法断念とロシア疑惑で支持を失ったトランプが国民の目をそらす格好の材料だが、北朝鮮に軍事攻撃をすれば同盟国韓国は壊滅的な打撃を受け、世界経済は大混乱する。クリントン政権による北朝鮮核施設爆撃計画で既に検討済みで、今では更に被害が広がり日本やグアムの米軍基地も攻撃される。

北朝鮮も小競り合いは出来ても、全面報復から体制崩壊に至る全面攻撃は無理。やるぞ！やるぞ！と脅し続けるのが一番いいが、永遠には続けられない。どんな形で幕が降りるのか？金正恩のワンポイント殲滅が一番合理的だが、核とミサイル、ソウルとの距離からするとイラクのフセインやリビアのカダフィの時の様に時間をかけられない。ビンラディンのように手際よくいくか？「中国が北朝鮮を抑えなければ米国はあらゆる選択肢を含め単独でも行動する」とトランプは言うが、北朝鮮は中国に任せたとすることで、米国が軍事行動に踏み切る訳ではない。中国になんとか抑えてもらいたいのが本音。中国は北朝鮮に圧力をかけ米国に協力するかに見せるが、北朝鮮を存続させ、北朝鮮問題を簡単に終わらせないのが利益だ。中国が退けば、シリア問題でトランプ政権と対立したロシアが北朝鮮の存続に一役買うこともありうる。

ロシアも中国も、北朝鮮も、かつての「社会主義」国家。階級もない、格差もない、「能力に応じて働き、必要に応じて取る」、自由の千年王国をつくる筈が、無残な姿を曝す。社会主義はマルクスの描く「世界革命」としては実現せず、レーニンの指導したロシア・ソビエトを手始めに、さみだれ的に「一国社会主義」として結果した。政治的にはプロレタリアート独裁、経済的には生産手段の国有化と計画経済を標榜したが、「プロレタリアート独裁」は「一党独裁、個人独裁」に変質、「生産手段の国有化と計画経済」は経済崩壊を結果した。中ソ対立の末、毛沢東が永続革命としての「文化大革命」と世界の都市が世界の農村を包囲するという「世界革命戦略」を打ち出すが混乱をもたらしたただけだった。「世界革命」の道筋は見えないが、「経済のグローバル化」と「IT、AI化」は世界を一つに、フラットにし、単純労働から人間を解放することで、世界革命へのプロセスになるのではないか？夢想する年寄りがいる。

◎ひよっこ

油を流したように、穏やかに光る春の麗の晴海埠頭。白い客船が巨体を横たえ、目の前では蠟螂の斧の如き数十のクレーンが林立、オリンピック村の基盤整備が進む。可愛い孫息子と同伴出勤。毎週のように東海道をのぞみする。遠くの山は紺く霞み、手前の丘は針葉樹の濃い緑、広葉樹の淡い翠と山桜のパッチワークが綺麗。まだ残る鮮やかな桜花が時に視界に大きく迫る。関が原の辺り、紺く霞む伊吹の山の頂きに白く残雪。

NHK の朝の連続ドラマ「ひよっこ」はそんな春のうららの奥茨城の農村が舞台。先の東京オリンピックを前に公共事業で湧く、東京。高度成長期、工業化と都市建設を進め、地方の中卒や高卒の若者を安い工場労働力として、建設工事のために農家の大黒柱を出稼ぎ労働者として、かき集めた。一方で優秀な若者も管理職として養成するために東京の大学に集めた。あたかも何でも飲み込む宇宙のブラックホールの様に。

集団就職の級友と駅のホームで涙で別れ、一升の米を借りにくる、風呂を借りに来て湯船に浸かるのを遠慮、体だけ洗って帰り、親父が飲ん米だと綿の布団もなく藁しべの「マットレス」にくるまり眠る秋田の寒村の貧しさを見て育った、、一步遅れてブラックホールに吸い込まれながら、その貧しさから救いたいと、学生運動に走る。

舟木一夫の高校三年生が箱型の小さなテレビから流れる「ひよっこ」は、18歳の自分自身。あれから半世紀、夜汽車の三段ベッドで揺られ、一晩かけ上野についた、だが、故郷秋田まで新幹線でも4時間、大阪なら2時間半を切る。新しいオリンピック村の建設現場にはクレーンが林立、重機が走り、空調の利いた現場事務所でパソコンを叩き、図面を引く技術者はいても、出稼ぎ労働者が雑魚寝する飯場はない。

◎トラブルも東奔西走

久し振り仙台に。NTT の建築設計部門の1時半のアポが2時半に延び、3時の東日本高速仙台工事事務所のアポを3時半に延ばして貰う。11時20分東京駅発のチケットを1時間遅らせようと御徒町駅に。架線にビニール袋が掛かって新幹線が止まり、動き出したが大幅遅れで変えない方がいいという。定時に東京駅へ。1時間前の10時20分発が発車せず、いつ着かわからないから時間変更しようと並ぶ間に10時20分発は発車、一時間以上遅れの10時44分発に変更、1時間半で仙台着。技術の粋を集めた新幹線を、風に吹かれたビニール袋がストップさせ大混乱の不思議。

翌日は神戸、尼ヶ崎へ。銀座のママならぬ2歳の孫息子との保育園への「同伴出勤」優先で、午後目的地着の出張が多い自分に気づく。あれもイヤ、これもイヤ、何でもイヤのイヤイヤ期を過ぎ、これナーニ？これナーニ？と質問連発、分かりやすい説明を心がけるが語彙不足の2歳児にどこまで分かる？可愛い孫の会話能力を函養、語彙を増やし、脳内データベースを厚く出来ないか？人間大好き、子供大好きのは、には至福の時間。

神戸の JR 三宮駅再開発がスタート、森田三宮ターミナルビル社長に時間を頂くが、新大阪乗換えの快速電車が大阪駅で動かない。線路上に不審物があるという。2日続きでトラブルに遭うのは珍しい。JR 大阪駅と道を挟む阪急梅田駅で特急に乗換え、2時に10分遅れで三宮に。森田社長には和歌山ターミナルビル社長の昨年、電源開発の井水利用専用水道システムを導入して頂く。顧問先の阪和興業の鉄筋や鉄骨、高橋カーテンウォールの PC カーテンウォールなどの建築資材だけでなく、専用水道もお手伝いさせて頂ければと訪問。

3時半に尼崎のJR西日本不動産開発へ。芦屋で有料老人ホーム、岡山と広島駅前ホテル、和倉温泉でリゾートホテルなど様々な開発案件を抱える。所有するジャスコの店舗ビル金沢フォーラスでも井水利用専用水道を導入して頂く。電源開発のリスクと費用で井戸を堀り、浄水設備を設置、水を安く供給、市水と併せて水源を二重化、事業継続性（BCP）を高める。お客様のリスクと投資なしで水道代を節約、事業継続性を高められる。つくば大学では3・11の朝10時に通水式をし、大地震で市水が3日間ストップしたが、手術を含め附属病院の機能を継続出来、大いに感謝された。

◎銀座のお姉様と同伴出勤

誰に似たか、人見知りと物怖じをしない孫娘が🍀のために若いガールフレンドを、まとめて4人もつくってくれる。9年かけ卒業した大学でアルバイト仲間、「乗り換え案内」で皆さんご存知、ジョルダンの佐藤社長と岩原スキー場でシーズン10回目のスキーを楽しむ。スキー場のど真ん中のやましんで昼食。濡れた手袋や帽子を乾かす石油ストーブを四角く囲むカウンターで、もつ煮かけうどんとビールと地酒の緑川を楽しむ。先にざるうどんの大盛を食べ終えた孫娘、隣の4人組のお姉さんに話しかけ、遊び始める。お姉さんの一人がスマホで写真を撮る。メールで写真を送って、と名刺を手渡す営業専科の🍀。

「干場さん、こんにちは！先日岩原スキー場でお会いしました渡邊と言います(^-^)/♪お孫さんとお写真添付しました。せっかくかわいいのに真顔の時しか撮れていませんでした！すみません！私たちの集合写真とお孫さんにアゴをやられてる写真(笑)も添付しておきます。4人とも銀座の同じお店でホステスをしております。お近くにいらした際は、是非お立ち寄りください(*^-^)/♪『77』東京都中央区銀座 8-5-15 SVAX 銀座ビル 7F 03-6218-4649 源氏名 檸檬(れもん)」と、思いがけず銀座のきれいどころからメール。

ホステスのお姉さんも、しかも仲間でスノボーするんだ！と感心しながら、銀座77で検索すると、高級クラブのよう。写真のお礼に一度お店に顔を出すにしても高そう。スポンサーを募り、顧問先の専務と、店長が顔見知りの銀座の木曾路で檸檬ちゃんと待ち合わせ、食事。三人で銀座のはずれのお店に「同伴出勤」。岩原で一緒だった菜摘ちゃんと美和子ちゃんも同席、再会。入れ替わり、立ち替わり可愛いお姉さんが相席、1時間半過ぎて、時間ですと席を立つと、入口には立って待つ客。

初体験の銀座のお姉さんとの同伴出勤も楽しかったが、孫息子との同伴出勤に優る同伴出勤はない。銀座のお姉様方とはスキー場へ又、是非、同伴出勤したい。

◎ディープキス

孫息子との朝の同伴出勤。週末に家族と濃厚な時間を過ごすせいか、休み明けの月曜日、機嫌が悪い時もある。1歳児クラスから2歳児クラスに進級した新年度初日、娘のマンションのドアを開けるとジージと言って駆け寄る。抱っこすると、小さい口を大きく丸めて、🍀の口目掛けて突き出す。🍀に避ける理由はなく、愛でたく禁断のディープキス。娘が、あー、可愛い、食べてしまいたい！と、しょっちゅうブチュッ！ブチュッ！するから、好きな相手には自分もするもんだと思っている。

バギーに乗るのが大好きな車用族だが、2歳児クラスに進級、新しく0歳児や1才児が入りバギーを置く車用族の特権を失う。どうにかして車用族から歩行族に進級させる必要。

玄関先の通販の荷物の段ボール箱に腰掛けさせ、●もしやがむ。目と目が合った隙に唇を奪われるが、靴下を履かせ、靴も履かせると、バギーには目もくれず、娘にバイバイと手を振り、隠れんぼしながら、面白がって歩き通す。

◎新堂先生

年度末と年度初めは、顧問先も営業先も人事異動や営業の締めなどで慌ただしく、●は余り仕事にならない。海外に●通信の取材旅行に出かけることもあるが、小二に進級した孫娘の春休みを利用、二人だけの2泊3日のスキーツアー。土曜日朝、9時頃我が家を出て奥利根宝台樹に12時半過ぎ着。雪の消えた道は空いて、いつもの蕎麦屋も客が少ない。孫はざるうどん、●は山菜と漬物、もつ煮でそば抜き、ビールショート缶と水芭蕉のワンカップ1本と控え目。リフトもシーズン末で3本だけ。山頂の上級コースも含め、4時半のリフト終了まで滑る。孫もボーゲンで体を振り、転びながらついて来る。

リスクのある山道は止め、水上から湯沢まで高速を走る。娘の岩原のマンションの食堂が忌引で臨時休業。スキー場のレストランも閉まり、湯沢駅まで車を走らせるが駅弁も売り切れ。駅中のコンビニで最後に残った幕の内弁当を2個買い、大浴場でお風呂、お手てつないで白川夜船。翌朝も車を近くのセブンまで走らせ、孫の好きな納豆巻きを買う。岩原は雪崩警戒か？山頂リフトとそれにつながるリフトは休業。中腹のファミリーゲレンデで滑る。リフト下の教習用のコブのコースを目ざとく見つけた孫娘がやりたいと、挑戦させるが、入り口でダウン。●も2度、3度挑戦するが、途中でコースアウト。

経営者高齢で売却、最後の営業日というやましんで、仲良くなった同学年の男の子の横浜の造園屋さん一家とお昼が一緒になる。一度一緒したことのあるご婦人が入って来ると、「しんどうさん」という東大法学部の先生の奥方だと言う。●が授業を一度も聴かずに試験にチャレンジ、頼りの判例付模範六法を持ち込むも歯が立たず不可を貰った、民事訴訟法の新堂先生の奥方だ。85歳の新堂先生が呼ぶのでと、華麗なシュプールを描いて仲良く滑り降りていく。あと15年、新堂先生にあやかれるか？

3日目の朝、標高の高いGALA湯沢に。2キロのロング下山コースも2回、3時過ぎまで滑る。マンションの大浴場に浸かり、夕食まで卓球を楽しむ。食堂で夕食、夜の関越道を2時間半で帰る。スキーと孫娘とのスキンシップをたっぷり楽しむ。健康なシニアライフのために、「孫のサポート」は心強いが、軍資金も少しは必要。最新情報をインプット、ネットワークを広げ、コンサルティング能力を研く必要。ゴルフもスキーもない週末はプールで体を動かし、図書館で経済誌や総合誌を読む。脳強・体強のシニアライフを！

◎チョー面白い！

孫娘の小2の進級祝いに「なぜ？どうして？科学のお話2年生」「なぜ？どうして？もっと科学のお話2年生」「なぜ？どうして？身近な疑問2年生」（いずれも学研）の3冊をプレゼントするが、「私にぴったし」と、よく読んでいるという。気を良くした●、又、東京駅の丸善へ。それぞれの「1年生バージョン」を買って贈る。もう一年生じゃないよ！と言われなにか心配したが、チョー、面白いと言って読んでいるという。彼女の好奇心にマッチしたようだ。本の「撒き餌」をして、好奇心をドンドン刺激してやろう。娘には自分達は忙しいから、●も世話人をする緑の地球ネットワークの黄土高原植樹ツアーなど、

海外にも連れて行ってと言われる。望むところだ。好奇心に翼つけ、共に世界へ！

我が子にも「漫画日本の歴史」や「漫画世界の歴史」、易しい伝記や偉人伝を買い揃えておいたが、孫の方が手応えがありそう。お姉ちゃんが本を読む姿を見れば、下の男の子も自ずとお姉ちゃんの読んだ本に手を伸ばし、本好きになるだろう。●が育ったのは貧しい田舎だが、兄弟が多く、9人兄弟の8番目、お菓子を分け合う時の競争は激しかったが、姉兄たちの読んだ教科書や雑誌、文学書等が手の届く所にふんだんにあり、親爺も割りと物好きで、高等小学校しか出ていないが、田舎では珍しく新聞を読むなど知識欲はあり、●も新聞に目を通す。活字が大好きな、少しおませな子供に。

古新聞はポットトイレの落し紙になり、「日共トラック部隊」とか「血のメーデー」などの政治用語もトイレで覚えた。長じて学生運動に走る●の左翼思想はお尻から刷り込まれたのか？インクで真っ黒のお尻は白神の海の素潜りで洗い流したが、落ち切らなかったのか？瓢箪から駒でT大法学部に入ったが、学なしの親父を糠喜びさせただけで終わったのは、トイレの落し紙の古新聞のせいかな？そんな息子でも氣遣って、お盆休みにわざわざ上京、1年近く独房に拘禁中の中野刑務所へ面会に来たのに、大陸侵略の責任を反省しなければ口は聞けないと息子は「黙秘」。よほど頭に来たのか、家に帰るなりいきなりお袋の頭を金盥で殴ったという。突然製造物責任を問われたお袋にも悪いことをした。

●の二度目のエジプト紀行（16. 12. 23～30）II

③ゴミとピラミッド

3日目はナイルを挟みカイロ中心部の対岸、西岸の高台、ギザの巨大ピラミッド「村」へ。ナイルの恵みの洪水が及ぶ範囲にはナツメ椰子林が続き、緑が切れた所から、乾いた砂の世界、緑と土、生と死の世界の堺。坂道を登り切った広大な荒れ地に、ピラミッドの群れが忽然と姿を現す。4500年という長年月の間に、厚く施したスベスベの美しい化粧はほとんど剥がされ、ゴツゴツした下地の石組が剥き出しになり、その石垣さえ崩れ落ち、ただの石山に近い物まで含めると108基の王達の墓があるという。永遠の命を夢見、ミイラとなって不達のピラミッドに葬られた筈だった王達の墓は暴かれ、今は博物館のガラスケースの中。衆目に曝されながら、一個の物体として横たわり、願いは裏切られ、再び入魂することはない。永遠の物質も永遠の魂も存在し得ないということか？3つ並ぶピラミッドの中で一番大きいクフ王のピラミッドに入る。本来の高さは146mだったが現在は頂部が消失、137m。全体が白い化粧石で覆われていたが、その後の王の墓などの建設のために全部剥がされた。内部へは9世紀に盗掘のため入ったアル・マムーンの開けた穴から入る。狭く急な坂を、頭をコツンコツンぶつけながら入ると、王の部屋の石棺は入口よりも大きく、どうやって入れたかは未だに謎。盗賊にさえ名をなさしめたピラミッドの偉大さにあやかろうと余多の学者が知恵を絞るが、その榮譽に輝く者はまだ現れず。真ん中にあるのがカフラー王のピラミッド。頂部にスベスベした石灰岩の化粧石が美しく残り、最も小さいのがメンカウラー王のピラミッド。その南側には王妃のピラミッドが3基可愛らしくたたずみ、西方には広大なリビア砂漠。ピラミッドコンプレックスの入口、一段と下がった所に、カフラー王の守護のために造られたスフィンクスが入口を睨む。顔はカフラー王、身体はライオンとも言われ、石灰岩で造られ、全長57m、高さ20m、エジプトで最大、最古のスフィンクス。失われた顎髭は大英博物館に展示。エジプトの非力、帝国の横暴。

ヨーロッパに難民が殺到するのは守護神、スフィンクスの髭の恨み？パピルスの店を見学。子供の頃、畑でカラムシ（苧麻）を栽培、表皮を剥いで水に晒し、繊維を編んで下駄の鼻緒などに使っていたが、パピルスも似たような物か？苧麻が紙に変身しなかったのは何故？他に楮やミツマタなどの優れた和紙の原料があったからか？

レストランで昼食後、サッカラへ。市街を抜けると緑の田園風景が続く。緑を緑たらしめる運河も続くが、両側には一般ゴミや建設残土が捨てられ、ピラミッドの如き小山。まるでゴミ捨て場。白鷺がゴミを漁る。ゴミの山から選りすぐった物を自転車の荷台に振り分けにぶら下げた袋に入れる、頭から足先まで黒装束のご婦人。農業の機械化は進まず、ロバやラバ、子供が主たる労働力だという。低い橋で流れが遮られたゴミ溜まりには、パンパンに膨らんだロバさえ浮かぶ。かつてナイルの洪水に頼っていた農耕はアスワンハイダムが出来て洪水が来なくなり、化学肥料を使う。灌漑用水の整備も進み、小麦の二期作が進んだが、増える人口に追いつかず、一部を輸入する。キャベツやジャガイモ、人参、玉ねぎ、モロヘイヤ、ブロッコリーなどの野菜、砂糖キビ、バナナやマンゴーなどの果物が栽培され、ナツメ椰子は世界の生産量の15%を占め、世界2位。いんげん豆などの豆類は豊富でよく食べるが、食事に出される野菜は日本に比べ種類が少ない。農業に限らず児童労働が当たり前とされ、就学率と識字率の低いのが労働生産性の向上を妨げている。道中、窓のない建物に鳩が出入りする小さい穴が沢山開いた鳩小屋も見える。鳩食やベリーダンスなどはオスマントルコ支配の名残り、トルコ系の国民は金持ちが多いという。

カイロの対岸ギザから10キロほど南下したサッカラの町では軒を連ねる観光用カーベットスクールに。細かい作業は指が細くしなやかな乙女でないと出来ないからと、中学生か高校生くらいのあどけない二人の少女が、機を織る。ここでも児童労働が幅を利かす。前回もそうだったように、富士フィルム製のインスタントカメラでそれぞれ撮ってやると大喜び。二人一緒のも撮って欲しい、🐸も一緒にと盛り上がる。サッカラの町外れにはガス田があり、軍隊の駐屯地も。大学生は30才くらいまでの間に1年間兵役にかなければならず、高卒だと3年。結構各地で軍事施設が目につく。観光地の入口など至る所で警察の検問があり、外国人の観光バスにまでマシンガンと防弾チョッキで武装した観光警察の4輪駆動の部隊が続く警察国家。これもいつか見た風景だ。武装警察を従えた観光バスの🐸様御一行はダハシュールで、赤っぽい石が使われ、赤のピラミッドと呼ばれる、断面が二等辺三角形の真正ピラミッドとしては最古のものとして有名なピラミッドを見学。ピラミッドの角度は43度22分、拳の砂を落として出来る砂山の角度に同じという。砂粒を建設用の石材と考えれば、安定性抜群で、以後のピラミッド建設のお手本となった。屈折ピラミッドは、下から50m、105mの高さの真ん中で52度から43度22分と、傾斜が緩くなる。角度が急過ぎて、石の重量を支え切れなくなったためと言われ、次の赤のピラミッドの建設で、この経験が活かされた。サッカラではジュセル王のピラミッドコンプレックスへ。東西277m、南北545mの壁に四囲を囲まれ、階段ピラミッドを中心にセド祭殿、葬祭殿などの建物が残り、ピラミッド複合建築の仕組みが解る。2列に20本の赤みがかった柱が並ぶ美しい柱廊を抜けると、中庭の北側に階段ピラミッド。第3王朝のジュセル王の命を受けた大臣イムホテプは、当時主流の台状の墳墓を積み上げ、6段60mの階段状にした。BC2550年頃とされるギザの三大ピラミッドに遡ること100年、世界最古のピラミッド。遠くに、今や石油より産出量が多い外貨の稼ぎ手、ガス田の掘削井から上がる紅い炎が見えるが、

数年前燃え上がったアラブの春の、若者の怒りの炎の痕跡も見えない。ギザからサッカーへ、ピラミッドの歴史を遡る旅は終わる。(続く)

◎東大三鷹クラブ132回定例懇談会・落語会(関西東大会30周年記念後援)のご案内 「東大出身初の落語家」春風亭昇吉君(03年入寮・経済学部卒・岡山城東)を大阪に迎え

①日時：平成29年5月20日(土)、16時開場、16時半開演、17時半懇親会

②場所：中央電気倶楽部：北区堂島浜2-1-25 TEL.06-6345-6351(代)



クイズ番組の『インテリ芸人枠』として久々のニューフェース登場。師匠は笑点司会者・春風亭昇太。今後、大ブレイクが期待される若手有望株(現在は真打の手前の二つ目)。現代文読解(Z会東大現代国語)全国一位実績で予備校講師・林修を超える現代国語実力者。

東大の前に、地元岡山大学へ進学。卒業目前で東大受験の為に退学、同級生が就活に励む中、受験勉強に励み、23歳で東京大学経済学部に入學した頑張り屋。東大では「落語研究会」に入部。2006年「第3回全日本学生落語選手権」優勝。東大経済学部経営学科を首席卒業し東京大学総長大賞受賞。落語家になってからは2012年13年と2年連続で「NHK新人演芸大賞」ファイナリスト。『東大生に最も向かない職業 一僕はなぜ落語家になったのか』を出版、気象予報士の資格も有し、バラエティなどにも出演。

◎木戸銭は7千円(懇親会費込み)。ご家族で参加の場合、二人目からは5千円。当日、現金お支払いも可ですが、事前にお振込み頂いた方が助かります。それぞれ下記にメール又はFAXでお申込み下さい。

<東大三鷹クラブ連絡・申込先>

(有)ティエフネットワーク 代表：干場 革治(東大三鷹クラブ世話人)

TEL：03-5689-8182 FAX：03-5689-8192 メール：tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp

振込先：郵貯銀行 記号10160-2 番号22978031 干場革治

三菱東京UFJ銀行 本郷支店 普通5277152 干場革治

<関西東大会連絡先>

河野 裕亮 代表幹事 TEL：090-3945-6360 メール：hiro55kono@ybb.ne.jp

◎歌娘サラ、母校で唄う

本郷の三四郎池横の山上会館へ。東大闘争で教授会を追い回していた頃は教官専用の木造の山上会議所だったが、コンクリート造の立派な建物に変わった。地域同窓会結成20周年記念パーティで、功なり名を遂げた皆さんが、スーツにネクタイ姿で参加。休日のスーツとネクタイに抵抗のある●はピンクのチェックのシャツに紫のコーデュロイジャケット、白の綿パンの出で立ち。服装に違和感を感じながらシドニー大学からの元交換留学生、三鷹寮生の歌手、サラ・オレインが登場すると、参加者の間を縫って紹介。公演の収益の一部をドクターヘリに寄付するサラを、オウムのサリン事件当時の警察庁長官で、銃撃されながら一命をとり止めた、認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワークの國松会長に紹介。サラを介してJR九州事業開発本部長の本郷専務など、要職にある方々と知り合う。サラが壇上で挨拶すると会場は静まり、アカペラで一曲披露すると拍手の渦。サラを挟み次々と記念写真。ジャパニーズパパとしては大いに面目を施す。

言語学を専攻、イタリア語の造詣も深いサラが、留学先をイタリアか？日本か？と悩んだ時、三島由紀夫の「金閣寺」に大きな衝撃を受け、日本に留学することにしようのは初耳。駒場共闘の、作家の橋本治などのグループが三島由紀夫を駒場に呼んで、大教室の900番教室で闘論したこともあった。その後中野刑務の独房で、仲間が差入れてくれた本に「夏子の冒険」という三島の短編があり、「金閣寺」の人間の欲望の深さ、赤裸々に比べ、爽やかでハラハラさせる「青春小説」も三島の小説だということが不思議だった。

三島が市ヶ谷の防衛庁で自決した時、●はまだ中野の独房にいたが、外界との数少ない接点だったラジオのニュースが突然切れ、自費購入の讀賣新聞が真っ黒に墨で塗られ、翌日面会の仲間の口から事の次第を聞くまで、何が起こったのか？全くわからなかった。戦前の日本がそうだったように、検閲とはそういうものだ。特定秘密保護法が成立、「国境なき記者団」によれば、報道自由度ランキングで日本は世界180カ国中72位だという。国会では今又、テロ等準備罪の成立に近い。この道はいつか来た道とならないことを！

◎新入生はイスラーム！？

4月15日（土）の新入生歓迎会、三鷹寮生はイスラームのようにアルコール抜きで盛り上がるが、脳ミソがアルコール漬けの年寄りにはソフトドリンクでは脳の皮質が刺激されず、盛り上がれない。連休の6日に本郷の浅瀬川で「味は文化です初夏編」と称して寮生にチャンコをご馳走、「正しい飲み方」を教えることにし、中締めで退散。一緒に参加した03年入寮、「笑点」司会の昇太の弟子、二つ目、東大出身初の落語家、春風亭昇吉君と吉祥寺の、若者に人気、関西から進出、株式を公開、勢いのある居酒屋「くしかつ田中」へ。二度漬け禁止の串カツと安酒をご馳走、飲み直す。チンチロリンで、サイコロを2つ転がし、ゾロ目が出ると酎ハイがただ、奇数で半額、偶数で倍量倍額のシステムが面白い。

東大卒初の落語家というユニークさから、時々TVのバラエティー番組に声がかかる昇吉君。月末から10日間、旅番組のリポーターでスイス、フランス、ギリシャへ。初の海外旅行で、旅の予習で読むのは明石書店の本でしたよね？と聞く。旅のベテラン●は明石書店の「〇〇国を知るための××章」と中公新書の「物語〇〇の歴史」を図書館で借りるのを薦める。旅の案内本というと先ず「地球の歩き方」だが、「地球の歩き方」は、「明日行くここはどんな処？」とワンポイントで調べるのにはいいが、断片的で通読しにくい。系統的、網羅的にその国を学ぶなら「〇〇国を知るための××章」が、歴史を簡単に、面白く学ぼうと思ったら中公新書の「物語〇〇の歴史」がお薦め。

咄家としてのウイットと唯一の東大卒落語家としての知性と、両方の魅力を求められるのだろうが、ギャラが1日3万円で、事務所の取り分が半分というのではシンドイ。旅のベテラン●も旅番組のレポーター向きと思うが？日当3万円では事務所も維持出来ない。東大出身の昇吉君には安いながらもTVから声が掛けかかるが、売れるまでは芸人も大変。

◎終わりに（結びに代えて）

80歳までの住宅ローンのリスクと背中合わせの育爺日誌編？読了ありがとう。●の生き甲斐が新生する一方で、三鷹クラブでお世話になつ長瀧重信先輩（S25年入寮、長崎大名誉教授、内閣参与）、水野勝先輩（S26年入寮、元国税庁長官、JT社長、会長）がお亡くなりになった。水野先輩にはJT時代に仕事でも随分お世話になった。合掌。